

クアラルンプール気候ガイド

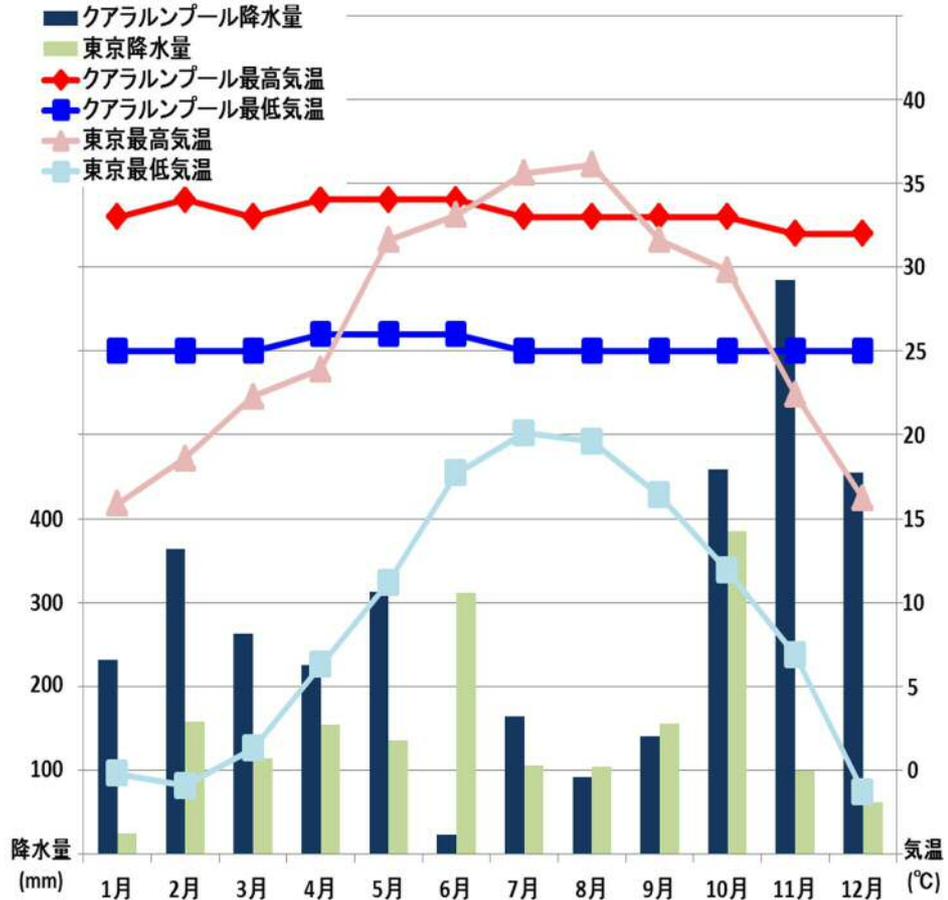
クアラルンプールは1年を通してあまり気温差はなく、温暖な気候です。
3月～9月頃の乾季と10月～2月頃の雨季とに分けられます。

3月～9月

この時期のクアラルンプールは、降水量が少なくなります。スコールが降ることはありますが、30分～1時間程度で止むことがほとんどです。

ただし日中は日差しがとても強いので、長時間外で観光する場合はこまめな水分補給が必要となり、紫外線対策も不可欠です。暑さ対策は万全にしましょう。

デパートなどの冷房が効いた建物内との温度差にも注意が必要となるため、冷房が苦手な方はカーディガンなどを持っていくと安心です。



10月～2月

この時期は1年のうち、降水量が多い時期で、強く激しい雨が降る場合もあります。

この雨は日本の梅雨のように1日中降り続くものではなく、南国特有のスコールです。2、3時間程度で激しい雨が一気に降るといような場合が多いので、外出先で激しいスコールに遭った場合は、室内で雨宿りをしながらショッピングや食事をゆっくり楽しむのも良いかもしれません。



クアラルンプール旅行のお役立ちアイテム

- 軽く羽織れるカーディガンなど
(冷房対策&日焼け対策)
- 晴雨兼用の折り畳み傘
- UVケア用品
(日焼け止め、日焼け後のローションなど)
- サングラス
- 帽子
- 小さめのタオル
(雨に濡れた時・汗拭き用)

服装選びの＜ワンポイント＞

マレーシアにおいては、モスクや寺院などの神聖な建物を見学する際、肌を露出するのは好ましくありません。ノースリーブやミニスカート、短パンのような格好はできるだけ避けましょう。

また、女性はスカーフの着用が義務付けられている場所もあります。場所によっては貸し出し用スカーフもありますが、頭を十分に覆い隠せる位の大きさのスカーフがあれば持参してもOK♪

スコール時の＜ワンポイント＞

クアラルンプールでは、雨季でなくとも1年中スコールが降ります。観光中にスコールが降ってきた場合、雨具を使用するのもいいですが、雨具ではしのげないほど激しいスコールが降るときもあります。もし時間に余裕があるなら、スコールにあったときは雨宿りをするのが得策！デパートでショッピングをしたり、レストランやカフェで休憩をする、街スパに行くといった楽しみ方もできます♪

クアラルンプールでの服装のめやす



半袖のTシャツに夏素材のズボンで対応できます。



レストランやショッピングモール、ホテル内などは冷房が強めに効いていることも多いので、長袖の上着を用意しておく心安心です。



靴は歩きやすいスニーカーやサンダルでOK！水はけが悪い場所もあるため、雨のときは濡れてもいい靴や靴下の予備があると便利です。



レポーター
名鉄観光

村瀬 示帆 荻本 尚子

<2016年2月08日>